

長谷川きよし & いい夫婦の日 パトリック・ヌジェコンサート



▲長谷川さん(左)とパトリックさん。2人の演奏はまさにプロの技。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。

身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

幼稚園でおゆうぎ会

園児らが元気に演技を披露

11月16日に飯樋幼稚園で、22日に草野幼稚園でそれぞれおゆうぎ会が行われ、園児たちが自慢の歌や踊りを披露しました。このうち、草野幼稚園では、園児たちによる合奏やおゆうぎ、音楽劇などが披露され、子供たちが小さな体を一杯に使ってこの日のために練習して



感動の音、夫婦・カップルの心に

ふれあいコンサート実行委員会(草野悠紀委員長)主催による、長谷川きよし&パトリック・ヌジェコンサートが11月22日、「いい夫婦の日」に公民館で行われました。今回コンサートを行った長谷川さんについて実行委員会では「全盲の方ですが、音楽活動や日常生活を、夫婦で協力して

行っている方です。もちろん演奏も素晴らしいですが、そのすてきな夫婦の絆をぜひ感じてもらいたいです」と招いた理由を話していました。また、パトリックさんは今年2月にも村を訪れており、その時はアコーディオン奏者の桑山哲也さんとのすばらしい合奏を披露してくれた方です。

この日は270人の観客が会場に集まり、先着50組のカップルには実行委員会からワインがプレゼントされました。コンサートでは、名曲「別れのサンバ」「黒の舟唄」など13曲が披露され、観客らは間近で披露される二人の演奏技術と歌声に「とてもすばらしく涙が出てきた」と感想を話していました。



▲草幼ちゅうりっぷ組による「Jungle Bible」

20の
リポート



庄司清枝さん
山形県在住
(伊丹沢出身)

◆私と家族

私は、3月に専門学校を卒業し、現在は酒田市にある特別養護老人ホームでケースワーカーをしています。右も左もわからない土地に来て半年が過ぎ、やっと仕事にも慣れ、充実した日々を送ることができています。

介護の仕事に就くことは、小学生の頃からの夢でもありました。高校を卒業してからこの道に進むまで、父と何度も話をしてきました。時には話

が合わなくてケンカをしたこともあります。しかし、最終的には私の気持ちを理解してくれた父でしたが、酒田市に就職することについては、ギリギリまで返事をもらうことができませんでした。勿論、今も快くは思っていないはずですが、私は、反対を押し切ってまで酒田に来たことを後悔していません。家族と離れ生活し、家族のというもののありがたさを改めて実感することができました。また、離れてみて私自身も成長することが出来ました。

今、自分のやりたい道に進み、充実した日々が送れているのも父の理解、そして、家族が応援してくれているおかげです。私は今まで父や家族に守られてきました。私はこの家族が大好きです。これから感謝の気持ちを大切にしていきたいと思っています。



▲会場後ろのだんごはわざわざ会場に行ってから作った力作



▲衣装がとても華やかと好評でした

飯桶町の芸能全国にアピール

飯桶町田植え踊り 全国大会へ

11月17日、岩手県花巻市文化会館で行われた第44回北海道・東北ブロック民俗芸能大会に、飯桶町地区の住民が福島県代表として参加し、地元で伝わる田植え踊りの発表を行いました。

今回参加したのは、飯桶町田植え踊り保存会の会員ら44人。北海道と東北6県から10の団体が参加したこの大会で、堂々と発表を行いました。

大会出場について細山利文保存会会長は「今回の大会に出場できたことはとても光栄。踊りも好評を得たようで嬉しく思っている。この大会で、どこも後継者問題を抱えていることが分かった。発表の機会を増やし、地域でしっかり伝承していくことが大事」と感想と課題を話していました。



地域の絆深める

宮内地区で交流会

11月10日、宮内行政区の婦人会と老人会の交流会が宮内公会堂で行われました。

午前中は介護教室が行われ、おしめの交換など介護の実技を学びました。午後の交流会では、地

元の佐藤長喜さんと菅野昌基さんのハーモニカの演奏で「ふるさと」や「あかとんぼ」を合唱したり、多田徳子さんの大正琴の演奏が行われました。また、早押しクイズも行われ、ユニークな回答が飛び出すたびに会場から大きな笑い声が上がっていました。